

防衛大学校 吹奏楽部 第55回 定期演奏会

Tuba

近藤 凌介 (64期)
吉田 敦 (65期)
村田 大典 (67期)

Euphonium

今井 二郎 (65期)
鶴木 友紀奈 (66期)

Stringbass

井坂 勇一郎 (64期)
青柳 武志郎 (66期)

Tuba/Euphonium/Stringbass



Percussion



演奏者紹介

Percussion

松本 卓巳 (64期)
畑田 宗司 (64期)
江尻 明日来 (65期)
島田 朔弥 (65期)
足利 多香子 (66期)
斉藤 進一郎 (67期)

Trombone



Trombone

嘉藤 樹 (64期)
岩田 陵佑 (65期)
宮崎 裕一郎 (65期)
岡田 亜侑 (66期)

Trumpet



Trumpet

佐藤 真琳 (64期)
北田 昌也 (64期)
コールマン 健 (64期)
井上 拓也 (66期)
宮里 辰輝 (66期)
藤井 美優利 (67期)



Horn

Saxophone

竹内 文人 (64期)
松本 彩佳 (65期)
井上 誠仁 (66期)
飯島 健介 (67期)

Horn

杉田 夏帆 (66期)
赤星 駿介 (66期)
東 実功 (67期)
村岡 光穂 (67期)

Saxophone

Clarinet



Clarinet

齊藤 夏奈 (65期)
齋藤 広高 (65期)
入船 瑞樹 (65期)
藤本 雅也 (67期)
菅原 美結 (67期)

Flute



Flute

増田 那美 (65期)
イム ヒョジュン (65期)
キム チャンホン (66期)
ダウ アイン ジュン (67期)



Oboe

Bassoon

Oboe

植田 乃々香 (67期)

Bassoon

安原 杏 (66期)



Conductor

畑田 宗司 (64期)

防衛大学校 吹奏楽部 第55回 定期演奏会

開催日 9月23日(月)祝日

開場 13:30 / 開演 14:00

会場 横須賀芸術劇場大ホール





吹奏楽部常任指揮者
吉澤 賢太郎

教育機関(学校)にて行われるクラブ活動としての吹奏楽部を、総称して“スクールバンド”と呼ぶことがあります。防大吹奏楽部もそのひとつになりますが、そのバンドの発展には、共通した3つの要素があります。『芸術的(音楽的)側面』、『教育的側面』、『娯乐的側面』これらの要素がバランス良く機能しないと、まとまりのあるサウンドが創り出せません。なぜなら、年度ごとに編成されたメンバーは、毎年変わるという必然的な課題を含んでいるからです。そして、その課題克服は、要約すれば、チームワーク(指揮者も含めた)の一言です。本日の演奏会、この3つの要素が情熱となって放射されます。どうぞお楽しみください。



防衛大学校学校長
國分 良成

本日は防衛大学校吹奏楽部定期演奏会にお越しくださいまして誠にありがとうございます。
防衛大学校は将来の幹部自衛官となるべき人材を育成すべき教育機関であり、学生は将来、日本の国防と国民の平和と安全を担うという使命感を持ち、日々切磋琢磨しながら生活しております。
吹奏楽部は防衛大学校の数々ある校友会のひとつです。校友会とは、部活動を意味しており、体力・気力の向上、協調性、リーダーシップとフォロワーシップ等、幹部自衛官として求められる資質を養う場でもあります。吹奏楽部は、平素は様々な学校行事において活躍しています。特に観閲式に関しては、音楽隊として隊の威容と斉一性を保ち、凜とした姿で演奏しております。
定期演奏会は、防衛大学校吹奏楽部の一年間の集大成の場であると同時に、日頃お世話になっている地域の方々に音楽を通しての感謝の意をお伝えする場でもあります。今年も本校の応援団リーダー部と共同でのパフォーマンスが行われると聞いています。ステージで活躍する、本校ならではの若人たちの凜々しい姿をどうぞお楽しみください。
最後になりますが、皆様方の日頃の温かいご支援、ご声援に対しまして、改めて心より御礼申し上げます。



吹奏楽部主将 Trumpet
佐藤 真琳

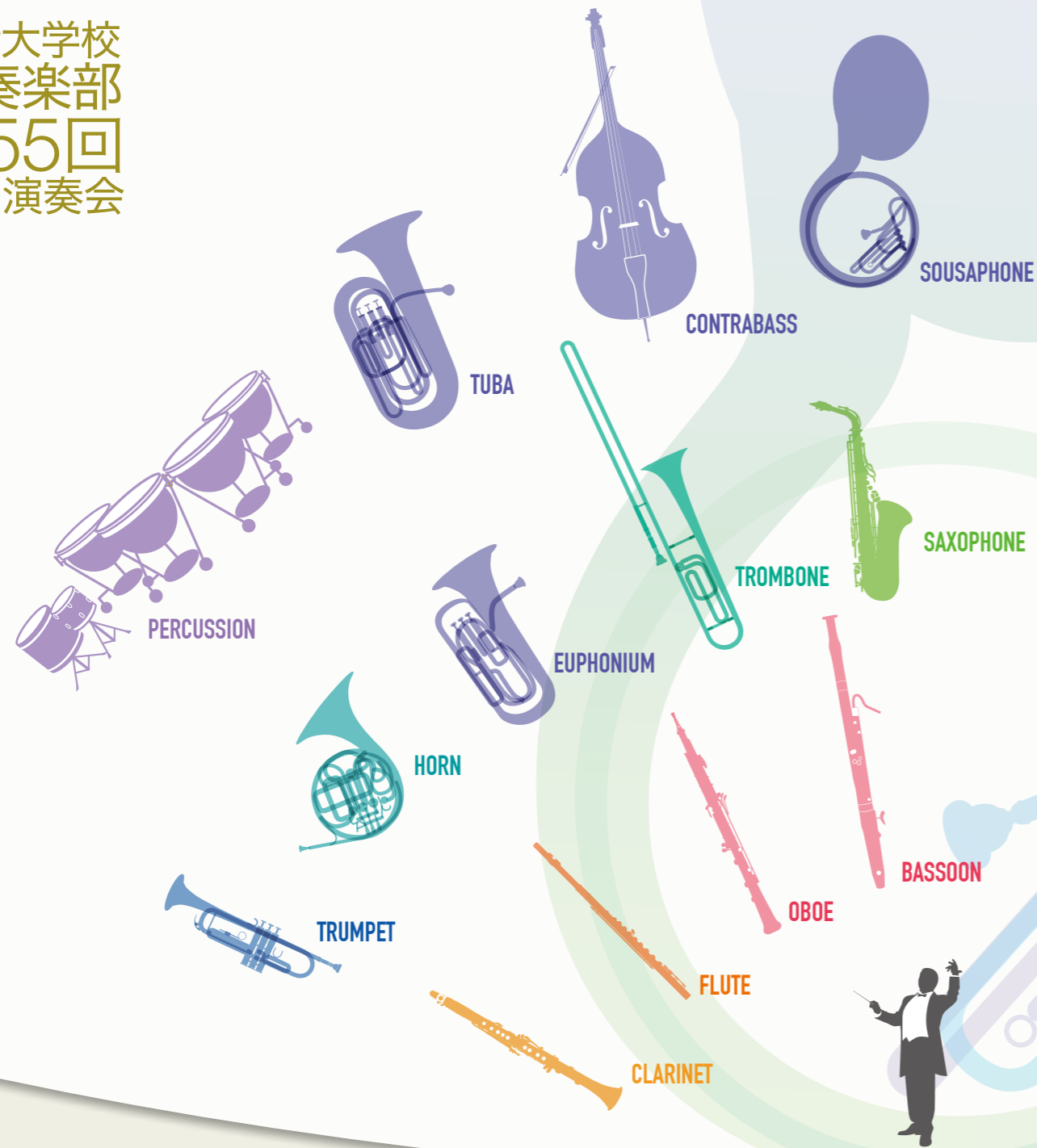
皆さまこんにちは。防衛大学校吹奏楽部 64 期主将の佐藤真琳です。
我が校友会では、月例観閲式・開校記念祭観閲式をはじめとした校内での演奏活動に加え、依頼演奏や定期演奏会等様々な機会をいただき演奏を行っています。我々は、そのような演奏において聴いてくださる方々に、多くの感動を与えることが出来るよう日々練習に励んでいます。
64 期は、諸先輩から受け継がれている伝統を引き継ぎ、それをさらに良いものに出来るよう積極的に活動し、明るく活発な部活動を目指しております。
本日はご来場いただいた皆様に、こうして我々が演奏活動出来ることへの感謝の気持ちと吹奏楽への愛を惜しみなく伝えるべく、練習を重ねて参りました。どうか最後までお楽しみください。



学生指揮者 兼 Percussion
かまた 畑田 宗司

防衛大学校吹奏楽部 64 期学生指揮者の畑田学生です。本日は防衛大学校吹奏楽部 55 回定期演奏会にお越しいただき、誠にありがとうございます。本校における吹奏楽部の任務は月例観閲式における演奏、校内行事における演奏、各種依頼演奏など部内外で幅広い活動を行っており、本校の広報活動の一翼を担っております。学生は勉学、訓練など制約が多い中、練習に励んできました。本日はその成果を皆さんに披露させていただきます。どうぞ最後までお楽しみください。

防衛大学校 吹奏楽部 第55回 定期演奏会



CLARINET

こんにちは。クラリネットパートです!! 皆さんはクラリネットという楽器をご存知でしょうか?クラリネットという楽器はオーケストラにおけるバイオリンのような楽器で主にメロディー、主旋律を任されています。特徴としてはリコーダーのような縦笛で黒色の楽器です。また、音域、表現力は木管楽器の中で一番広いといわれており、その音色に心奪われることでしょう。演奏位置は観客席からみて、指揮者の左側にいます。今年の定期演奏会も魅力的な曲がたくさん集められています。素晴らしい音楽の体験と一緒に楽しみましょう。

SAXOPHONE

サクソパートは曲中で低音域からメロディパートまで幅広い音域を担当しています。紆余曲折の末現在は1~4学年1名ずつ、計4名で活動しています。高音が華やかなソプラノサクソ、明るくはっきりしたアルトサクソ、色気あふれるテナーサクソ、渋い低音がたまらないバリトンサクソ、それぞれの音色をお楽しみいただくと幸いです。

HORN

こんにちは、カタツムリみたいな楽器で音を奏でているホルンパートです。基本裏打ちばかりで影の薄いホルンですが、カタツムリを全部伸ばすと約4mもあり、その音色と音域の広さが特徴です。また、音のコントロールが難しいため1番難しい楽器としてギネスにも認定されています。さて、そんな防大吹奏楽部ホルンパートは、パート員が1人(2年)のみで本当に影が薄くなっていましたが、元サクソおじさん(2年)・元ホルン奏者(1年)・元トロンボーン奏者(1年)の3人が新しくメンバーに加わり、新体制で存在感を出すべく日々練習に励んでいます。

FLUTE

こんにちは 안녕하세요 Chào ban フルートパートです。現在フルートパートはベトナムからの留学生の1学年、韓国からの留学生2学年、3学年と日本国籍を有する宇宙人の3学年の計4名で活動しています。他のパートに比べて情報伝達には時間がかかります(グーグル翻訳を使うことも)が、みんな練習熱心(自分で言うスタイル)なので、毎日着実に上達しています(これは本当)。今回演奏する曲の中でも活躍しますので、我々フルートパート(=東アジア連盟)の練習の成果をお聞きください。

TRUMPET

皆様、お初目にかかります。トランペットパートでございます。私たちトランペットパートは4学年3名、2学年2名、1学年1名の計6名で活動しております。本日はわずかな時間ではありますが、よろしくお願ひします。体験と一緒に楽しみましょう。

BASS PART

バスパートはチューバ、コントラバス、ユーフォニアムで構成されています。バスパートと言いつつもパート練習は楽器ごと行っております。バスパートのモットーは『ガンガンいこうぜ』。そんなバスパートのバワフルな演奏をお楽しみください。

DOUBLE REED

こんにちは。ダブルリードパートです。ダブルリードはその名の通り2枚のリードを組み合わせる音を鳴らす楽器です。音色も独特で、特にオーボエはソロに多く使われます。バスーンは木管の中でも優しい音色の楽器で、音域も広く曲中の様々な場面で活躍しております。ぜひダブルリードパートの独特で美しい音色に耳を傾けてください。

TROMBONE

こんにちは。トロンボーンパートです。トロンボーンは今年、3学年1名を新たに迎え、合計4名で活動しています。昨年と比べて人数が増えた分、よりバワフルな演奏になりました。いままでとは一味違ったトロンボーンの音色を、ぜひご堪能ください。

PERCUSSION

「吹奏」なのに「吹」ねえじゃん。そう思っていないですか。それやったら大切なことを忘れますよ。それは我がパートの貢献力は吹部一ということです。パーカッションには第2の指揮者という二つ名がある通り、各曲のリズムや雰囲気を決めつける役割があります。やりませぬ。それでも動画をご覧になると、「打楽器、映ってこない?」という現象は発生します。我々はアウトローなので。そういう場合は、曲の中で確かに息づく「いぶき」を感じてください。それだけで我々の存在の大きさに気付けるはずですよ。

防衛大学校吹奏楽部は昭和30年に創部されてから、多くのOB、OGを輩出してきた伝統ある校友会です。現在、私たちは4学年9名3学年12名2学年11名1学年10名計42名で活動しており、若さ溢れるバワフルな演奏を披露すべく、日々練習に励んでおります。



防衛大学校吹奏楽部部長
情報工学科教授
中村 康弘
(26期生、トランペット・指揮)

本日は防衛大学校吹奏楽部第55回定期演奏会にお越しいただき、ありがとうございます。また長年にわたる皆さまから賜りました温かいご支援、ご声援に改めて心より御礼申し上げます。

本校吹奏楽部は、大学の吹奏楽部という一面を持ちながらも音楽隊の役割も担っています。第二部では応援團リーダー部と共演しますが、音楽隊としての一面も垣間見ることができると思います。

それでは防衛大学校吹奏楽部の集大成とも言える定期演奏会を思う存分お楽しみください。

主な活動

吹奏楽部は校内で実施される発表会のほかに、月例観閲式訓練及び開校記念祭の観閲式にて音楽隊を編成し、パレードに参加しております。ここでは栄誉礼、国歌、巡閲及び学生隊の行進時の曲を全て吹奏楽部が演奏しております。また、校内のみならず地域との交流を深めるために各種演奏支援を行っており、地域の活動にも積極的に参加しております。

体力練成

吹奏楽部は普段の演奏に必要な体力のみならず、将来幹部自衛官に必要な体力、気力を養うために、練習時間の一部を体力練成の時間としてランニング、筋力トレーニングなどを実施し、体力練成を通じて部内の団結を図っております。



PROGRAM



第1部 (指揮: 吉澤賢太郎)

国歌吹奏

課題曲Ⅱ マーチ「エイプリル・リーフ」

作曲 近藤 悠介

課題曲Ⅰ「あんたがたどこさ」の主題による幻想曲

作曲 林 大地

マードックからの最後の手紙

作曲 樽屋 雅徳



第2部 (指揮: 学生指揮者 畑田 宗司)

(パーカッションソロ)

空の精鋭

作曲 矢部 政男

行進曲「飛翔」

作曲 神 明

陸軍分列行進曲

作曲 シャルル・ルルー

行進曲「軍艦」

作曲 瀬戸口 藤吉

應援團リーダー部との合同ステージ



第3部 (指揮: 吉澤賢太郎)

天地人～オープニングテーマ

作曲 大島 ミチル

ご長寿番組大メドレー

編曲 小島 里美

オーメンズ・オブ・ラブ

作曲 和泉 宏隆 / 編曲 真島 俊夫

演奏曲目紹介



第1部

課題曲Ⅱ

マーチ「エイプリル・リーフ」

この曲は近藤悠介氏によって作曲されたコンサートマーチで2019年度全日本吹奏楽コンクール課題曲に選ばれました。特に春をイメージして作曲されたわけではないそうですが、何となく春らしくて爽やかな印象のある軽快なコンサートマーチとなっています。

課題曲Ⅰ

「あんたがたどこさ」の主題による幻想曲

林大地氏によって作曲され2019年度全日本吹奏楽コンクール課題曲に選ばれました。この曲は、タイトルからも分かる通り、童謡の「あんたがたどこさ」をモチーフとして作曲された楽曲です。懐かしいメロディーと不思議な曲調をお楽しみください。

マードックからの最後の手紙

1912年4月、世界最大の豪華客船として、ニューヨークへ向け出航したタイタニック号は、その処女航海を終えることなく、海の底へと沈んでいきました。マードックは、タイタニック号に乗船していた1等航海士であり、船が沈む最後の瞬間まで勇敢に乗客の救出にあたった、乗組員の一人です。彼は、航海中家族に手紙を書くのが日課であり、そこには自分の近況はもちろん、家族を気遣う思いが必ず綴られていました。

そんなマードックからの「最後の手紙」には、乗客達で賑わう船上の様子や大西洋の美しい眺め、そして事故を予感させるアクシデントについて、語られていたかもしれません。曲はその手紙をアイリッシュ調のメロディーで綴っていきます。マードックからの最後の手紙を「読む」ように聴いてください。



第2部

空の精鋭

この曲は、航空自衛隊創立40周年を記念して、元航空自衛隊中央音楽隊フルート奏者によって作曲されました。爽やかさの中に古典的な風格を感じさせる、航空自衛隊公式行進曲です。

行進曲「飛翔」

この曲は平成14年に防衛大学校創立50周年記念に本校同窓会から寄贈された50周年記念行進曲の中の1つです。防衛大学校への入校とともに、今まで生活とはおよそかけ離れた厳しい規律や訓練の中に身を置き、卒業時には帽章の鳩のごとく逞しく、力強く羽ばたいていく防大生の姿をイメージして作曲されました。防大生が親元を離れ強く逞しく成長する姿をイメージしてお聞きください。

陸軍分列行進曲

この曲はフランス人のシャルル・ルルーが作曲した曲で、陸軍省制定行進曲として軍事パレードで使用され、陸軍を代表する曲となりました。現在、陸上自衛隊が行進曲として使用しているほか、警察庁でも警視庁機動隊などが行進曲として使用しています。私たちの力強い演奏をお聞きください。

行進曲「軍艦」

明治30年、鳥山啓によって作詞され、「日本行進曲の父」と称えられる瀬戸口藤吉によって作曲され、1900年に行進曲「軍艦」として誕生しました。現在、海上自衛隊でも儀礼曲の一つとして制定されており、進水式や出航式典などで吹奏されているほか、観閲行進曲としても演奏されています。

■ 應援團リーダー部との合同ステージ



防衛大学校應援團リーダー部は「滅私奉公」「漢は黙ってやせ我慢」の團訓の下、技の錬成及び体力の限界に日々挑戦しております。これは頑張る全ての人々の勝利のため、また、古きより受け継がれた伝統をより一層輝かしいものとするためでございます。本日は、代々伝わる技の中から、軍艦マーチ、抜刀隊を披露いたします。是非最後までお楽しみください。



第3部

天地人～オープニングテーマ

上杉家の家臣でありながら、豊臣秀吉、徳川家康らを魅了し、また最も恐れられた男、直江兼統。兼統は生涯を通じて、「愛」を信じ「愛」を貫き通します。今の時代に失われつつある「日本人の義と愛」を描くNHK大河ドラマ「天地人(てんちじん)」のオープニングを飾る、壮大なテーマ音楽です。

テレビの名曲・ケックサク20曲

ご長寿番組大メドレー

テレビは東京オリンピック(1964年)の頃に急速に各家庭に備えられたと思われる。家庭や社会における影響力は絶大となり、インターネット等が普及した現代でも、まだまだその存在は大きいです。そしてその中には半世紀を超えるなど、驚くべき放送年数を誇る「ご長寿番組」と呼ばれるものがあります。ここでは記録更新中(2011年3月現在)の20番組を選んで、耳慣れたテーマ曲(一部、挿入曲)の大メドレーをお届けします。一家団らんよ、聴れ!

オーメンズ・オブ・ラブ

バツグンのノリとカッコイイアドリブ、それにリリコンやシンセを多用した現代サウンドが、若者の熱狂的な支持を受ける「T-SQUARE」。この曲はもともと、1985年のアルバム「R・E・S・O・R・T」に収録されたものでありますが、1992年発売のアルバム「ロイヤルフィロハーモニックオーケストラ・プレイ・T-SQUARE」に再収録されたものです。題名の和訳は恋の予感という意味でその名の通り、突き抜けていくような軽快なビートが特徴です。